

# ネイチャーセンターだより



## 4月のみどころ



### 【上旬】

春の木漏れ日の下で、フクジュソウの花が開きます。フクジュソウの花びらは太陽の光を反射し、黄金色に輝きます。同じ時期にフキノトウも顔を出し始めます。後に続くようにして、深い赤色のザゼンソウが大きな仏炎苞を広げます。

鳥たちは春の渡りのピークを迎えます。春を告げる鳥として知られるヒバリは一番乗りで春国岱に入り、大きな声でさえずります。



黄金色に輝くフクジュソウの花

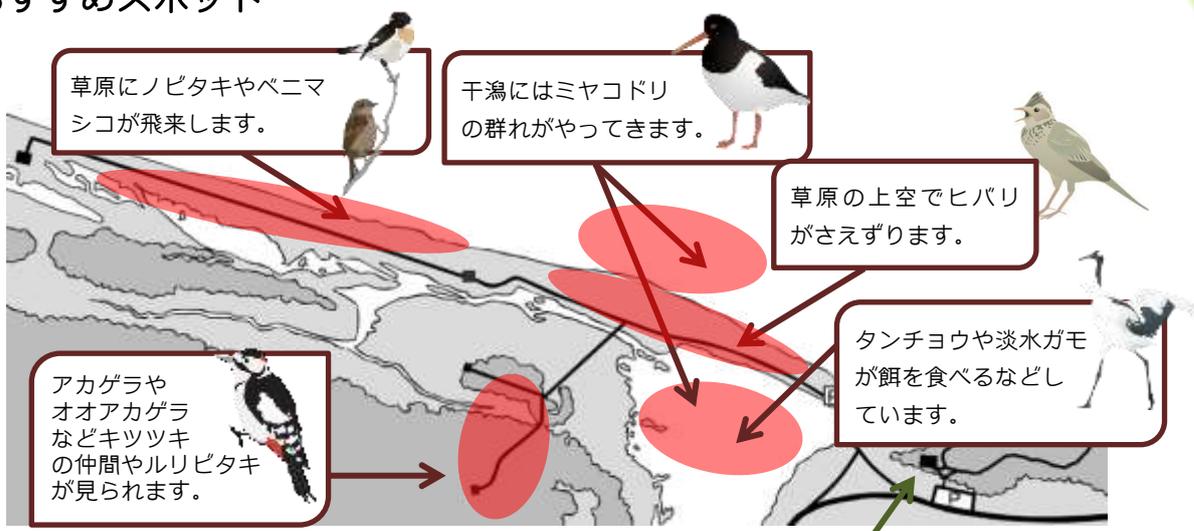
### 【下旬】

春国岱のオホーツク海側や春国岱湾の浅瀬などにミヤコドリの群れが渡ってきます。ピーク時には40羽以上の群れになることもあります。その他、オオソリハシギやホウロクシギなど大型のシギも飛来します。森の中ではルリビタキやアカハラが涼やかな声でさえずり、小川のほとりではミソサザイが元気な声でさえずります。



干潟でくつろぐミヤコドリ

## おすすめスポット



### 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

# トピックス

## 鶇（ぬえ）と呼ばれた鳥

春の早朝、少し暗い森を歩いているとどこからともなくヒー、ツー、ヒーとさびしげな声が聞こえてくることがあります。なかなか姿を見つけない、この謎の声の主を、昔の日本人は鶇（ぬえ）という妖怪ではないかと考えていました。今では、森の中から聞こえてくるこのさびしげな声の主は、トラツグミという鳥であることがわかっています。



真冬に現れたトラツグミ

トラツグミは春から夏に見られる鳥で、よく茂った広葉樹林などに生息し、主に夜間にさえずります。そのため、妖怪ではないかという噂が立ったのかもしれませんが。実は現代でもUFOブームが起こった1970年代にトラツグミの声をUFOと間違えて大騒ぎになったことがあるそうです。たしかに金属をひっかいたような音にも聞こえるので、機械音として間違えたのもうなずけます。

そんなトラツグミに今年はレンジャーも驚かされました。先に、トラツグミは春から夏に見られると書きましたが、今年はなぜか1月の真冬にネイチャーセンター前に姿を表したのです。これにはさすがにビックリして、何度も図鑑で確かめてしまいました。時代を超えて多くの人を驚かせるトラツグミは春国岱の第三砂丘や温根沼林道などで出会えることがあります。早朝の森を散歩するときはぜひ声を探してみてください。

## 春国岱クイズ

春になると春国岱の第一砂丘は繁殖期を迎えたヒバリで賑やかになります。そのヒバリたちの巣はいったいどこにあるでしょうか？（A、Bの中から答えを選んでください。）  
ヒント：ヒバリの動きを観察してみよう！

- A. 少し離れた木の上
- B. 草原の地面の上



ヒバリ

答えは次号に掲載します。（先月号の答え…A）

## いきもの図鑑



英名 Red-faced cormorant 学名 *Phalacrocorax urile*

チシマウガラス（ウ科）  
根室では岩礁などで見ることができます。今年は一月に春国岱橋のたもとに数日間滞在してくれました。写真は夏羽で、冬は頭の飾り羽が無くなり目の周りの赤色もほんの少ししか残らず少し地味な印象を受けます。かつては根室内で繁殖していたこともありますが、現在は繁殖が確認されていません。

# レポート

## ガンカモティーチャーズガイド 指導者向け講習会開催！

3月15日、(公財)日本野鳥の会主催でガンやカモなどの水鳥とそれを取り巻く環境について楽しく学習できる教材「ガンカモティーチャーズガイド」の指導者向け講習会を開催しました。講習会は一日かけて行われ、実物大のオオハクチョウを作成したり、プログラム実施練習をしたりと盛りだくさんの内容となりました。受講された方の多くはボランティアガイドをしており、プログラムを今後の活動に利用したいと話していました。

## フィールド講座②

### 「冬に大集合カラの暮らし」開催！

3月16日、歴史と自然の資料館の外山雅大学芸員を講師にお招きし、身近で馴染みの深い小鳥、カラの仲間の暮らしについてのお話をいただきました。中でも、違った種類どうして群れを形成する混群の話に、多くの参加者が感心していました。



作成した実物大ガンカモを掲示する参加者



講演の様子

# レンジャー日記

風蓮湖にオオハクチョウが渡ってきました。3月上旬から徐々に見られるようになり、3月25日には風蓮湖の水辺に50~100羽ほどが見られました。秋には飛来が少なくやきもきしていましたが、春の渡りは順調そうです。

【記：レンジャー松岡】



# NEWS

## 松岡レンジャーから異動のごあいさつ

4月より苫小牧にあります、ウトナイ湖サンクチュアリ、及び野生鳥獣保護センターに異動することとなりました。根室には3年間お世話になり、タンチョウやオオワシなど道東の自然を満喫させていただきました。皆様に支えられ過ごした思い出は私にとってかけがえのない財産となりました。短い間でしたがこれまで本当にありがとうございました。そして、もし苫小牧方面に行かれる方がいらっしゃいましたら是非ネイチャーセンターに遊びにきてください。



# 行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
5 / 25 (日) 6:30~9:00	<b>春のバードウォッチング</b> 春国岱の観察路を歩きながら、子育てシーズンの野鳥の様子を観察します。 	100円	定員 20 名（先着） 5/20 までにお申込みください ※小学生以上、小学生は保護者同伴 ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる暖かい服装、あれば双眼鏡
5月6日まで いつでも	<b>クラフトコーナー</b> 自然の素材を使って、工作ができます。見本や自由な発想で作ってみましょう。	無料	申込み不要 
いつでも	<b>ほんもの探しゲーム</b> ネイチャーセンターの展示コーナーでかくされた本物を探すゲームに挑戦！	無料	申込み不要
いつでも	<b>ラムサール クイズ</b> ネイチャーセンターの展示フロアに出題されたクイズに挑戦！	無料	申込み不要

## ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスンクと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：  
 フィールドボランティア 300円  
 ボランティアグループスンク 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター  
(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地  
 TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570  
 Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp  
 URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

- ◆4月の休館日：2, 9, 16, 23日
- ◆4月の開館時間：9:00~17:00
- ◆団体でご利用の方へ  
 自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。(要 事前申込)